

長子配布

令和4年度 前期学校アンケートの結果(7月実施) 10月 18日(火)

内灘町立清湖小学校

保護者アンケートにご協力をありがとうございました。アンケート結果を、児童アンケート・教職員アンケート及び、昨年度(令和3年度7月)のアンケート結果(A+B)と比較できるよう並べてみました。ご覧ください。
 保護者アンケートより、多くの項目でA+Bを選んだ方が80%を超え、本校の学校教育にご理解いただけていることがうかがえ、ありがたく存じます。改善が必要なことにつきましては、方針を示して取り組んでいきます。これからも保護者のみなさまの信頼に応えられるよう、子供達の健全育成に家庭・地域とともに取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。
 なお、裏面には、保護者の皆様からお寄せいただきましたご意見と、それに対する学校の考えを載せました。
 ※保護者アンケートの割合(%)は、E(判断しにくい)については、全体(A~Eすべての合計)の中での割合、A~Dについては、Eを抜いた数字(A~Dの合計)の中での割合です。

項目	集計表		保護者						児童						教職員						考察・改善に向けて		
	数字は%		A	B	C	D	E	R4 A+B	R3 A+B	A	B	C	D	R4 A+B	R3 A+B	A	B	C	D	R4 A+B		R3 A+B	
1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	57	36	6	1	1	93	91	66	20	6	8	86	90									「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた児童への見取りや聞き取りをする中で具体的な支援を行っていく。また、日々の学校生活で、児童の自己有用感が高まるような活躍の場や認められる場を増やしていく。
2	子どもは、授業に落ち着いて取り組んでいる。(授業参観等から)【教職員は「積極的に」】	43	45	9	2	1	88	91							25	69	6	0	94	69			自分の考えやまとめ、振り返りをしっかり書く時間を設けている。また、挙手による発言を促すだけでなく、ペアやグループ活動で全員の考えを表出し、学び合う場を設けるようにしたことで、児童のわかった・できたを実感させることができた。
3	子どもは、生活の中で環境を大切に行動している(節電、節水、ごみの減量、残さず食べる等)。	27	48	21	4	2	75	80	58	35	6	1	93	91									コロナ感染予防対策をしっかりとしながらも、節水・節電できる具体的な行動を児童に示していく。紙エコや残滓ゼロなど児童委員会で継続して取り組み、保護者や職員のエコ意識もさらに高められるよう働きかけていく。
4	子どもは、学年目標時間(10分間×学年以上、1年生は20分間)以上の家庭学習(宿題・読書を含む)にきちんと取り組んでいる。	37	42	16	5	2	79	83	52	33	12	4	85	86	46	54	0	0	100	100			8割の児童は、宿題等の家庭学習の習慣が身に付いている。お家の方と連携しながら、漢字・計算ステップアップ週間等を利用して学習習慣を身に付けさせる。
5	子どもは、将来の夢や希望をもっている。	47	33	17	2	3	80	83	75	7	9	9	82	85									行事ごとに目標設定と振り返りを行い、児童を励ましなが自己肯定感が高まるように取り組んでいる。将来の夢や目標の大切なモデルとして地域の方との交流をさらに充実させていくことで、人の生き方への関心を高めていく。
6	子どもは、家庭や地域でしっかり挨拶をしている。【教職員は「学校でのあいさつ・正しい服装」】	45	43	11	1	0	88	90	59	32	7	2	91	87	13	64	25	0	77	82			6年生が率先してあいさつ運動に取り組んでいる。さらに、全学年がさび隊に参加する機会を設けることで、「いつでも・どこでも・だれにでも」を意識したあいさつができるような取組の工夫を行っていく。
7	子どもは、学校生活や帰宅後の遊び等で、友だちと仲良くしている。	67	27	5	1	1	94	97	57	31	8	5	88	89									子供たちの自己肯定感が高まるように、児童も教師も「キラキラカード」を活用し、良いところをお互い認め合うことができた。同学年だけでなく、異学年とも良いところが認め合えるように交流できるように「キラキラカード」を活用していく。
8	子どもは、何があってもいじめは絶対にしてはいけないとよく分かっている。	70	29	1	0	2	99	99															どんな理由があっても、いじめはいけないということを折に触れ指導しながら理解を深めていく。また、友達アンケートや心のポストを活用しながら、職員全体で情報を共有し、児童を見守っていく。
9	子どもは、朝食をしっかりと摂っている(複数の献立)。	51	38	9	2	0	89	86															朝食を食べることがなぜ大切なのかを学年の実態に応じて、再度、指導する機会を設けていく。また、食べてこない児童への声かけも丁寧に行い、指導を続けていく。
10	子どもは、起床、就寝、テレビ・ゲーム等の時間を守っている。	20	41	28	11	2	61	70															保健だよりや給食だよりを通して、早寝・早起き・朝ご飯について啓発し、家庭と連携した取組の工夫を行っていく。ゲーム等の時間については、実態を保護者に伝え、「親子のホットとネット大作戦」の資料等を通して、再度家庭で話し合いをもつよう促す。
11	子どもには、頑張っているところや良いところがある。	84	15	0	0	0	99	99	54	26	9	11	80	76									学校生活全般において、児童の取り組みに対し意図的に褒める場を増やし、児童一人一人に自信や自尊感情を持てるようにしていく。児童の頑張りを認める「キラキラカード」を活用し、その頑張りを広め、認め合えるような働きかけを行っていく。
12	子どもは、家庭での仕事(手伝い)を行っている。【児童・教職員は「学校での清掃活動・当番活動等」】	32	43	21	5	1	75	84	69	27	4	1	96	96	56	38	6	0	94	94			学級会や委員会等を活用し、児童側から意見を出し、そのアイデアを生かした企画・運営する取組がいくつもあった。自分たちで企画・運営できたことについて認め合い、褒めていくための機会や場を工夫していく。
13	先生は、子どもの困ったことや悩みに対して相談に乗っている。	47	46	6	2	7	93	93	80	15	3	3	95	95									日頃の児童の様子を丁寧に見ていく中で、ほんの少しの変化にすぐに対応できるように、これからも職員がアンテナを高くしていく。また、友達アンケートや心のポストも活用していく。さらに、スクールカウンセラーとの連携もきめ細かく図っていく。
14	先生は、子どもの頑張りや力の伸びを適切に認めている。	51	45	3	1	5	96	98	76	18	5	1	94	95									よいところを認め合う「キラキラカード」を児童も教師も活用してきた。教師が児童を認めることを継続しながら、児童が相互に認める場を意図的に設け、認め合える集団づくりを目指す。
15	先生は、子どもの間違った言動をきちんと指導している。	49	47	3	1	7	96	98	82	15	2	0	97	93									これからも、子供たちの話を丁寧に聞き、迅速に解決が図れるような組織的対応を心がけていく。児童に間違いがあった場合は、しっかり理解できるよう丁寧な指導を心がけていくと同時に、保護者との連携を図っていく。
16	学校は、ホームページやお便り等で教育方針や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	40	52	5	2	1	92	97							13	81	6	0	94	80			毎月の「学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、道徳だよりやホームページ、学校掲示等で、学校の様子や児童の様子を具体的に知らせていく。児童の様子が保護者に伝わるように、こまめに情報発信を行っていく。
17	学校は、交通事故や不審者等から自分の身を守る方法について子どもに指導している。	62	36	1	0	2	98	99							75	25	0	0	100				避難訓練などの指導について、学校だよりやホームページ等で保護者に知らせていく。学校での指導とともに、毎月の交通街頭指導を継続し、保護者と連携しての交通安全指導にも取り組んでいく。
18	学校は、家庭からの連絡や相談に対して適切に対応している。	61	38	1	0	2	99	99							13	80	7	0	93	87			保護者から信頼していただける学校になるよう、努力を継続していく。また、スクールカウンセラーや専門機関等の協力も得て相談体制の充実を図ることによって、児童にとってよりよい教育活動が推進できるようにしていく。
19	学校は、施設や設備などの環境整備を十分行っている。	41	51	6	2	2	92	93							38	62	0	0	100	100			1ヶ月に一回、定期的に安全点検を行っており、担当者が迅速に対応している。また、感染症対策も含め、全職員で校舎内外の環境整備に関しても全職員で取り組んでいる。不審者が侵入できないように、さらに児童玄関の施錠について徹底していく。
20	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	43	46	9	2	4	89	97							44	56	0	0	100	100			これまでも一貫した姿勢で取り組んできているが、さらに継続して、未然防止・早期対応を心掛け、学校全体で共通行動をしていく。いじめ対応アドバイザーの先生との連携も図っていく。